



ヒレジャコガイ（二枚貝類ジャコガイ科） *Tridacna squamosa*

貝殻にあるヒレ状の突起が特徴で、大きな個体で殻長が 40cm ほどになる大型の貝である。水深が 5m ほどの潮通しのいい海域で、エダサンゴの死んだ骨格が折り重なるような場所（礁原）で、エダサンゴに埋もれるように生息しているといわれている。

ヒレジャコガイやシャゴウなどの大型のジャコガイは、礁原でゴロンと横臥しているが、ヒメジャコのみは岩の中に入って（固定）生きている。

写真の個体は、礁原周辺の干潟上（潮だまり）にて確認したが、この個体以外にも数個体が観察された。今でも、人知れず、このような大きなジャコガイが、泡瀬地区周辺に広がるエダサンゴ群落などのサンゴ礁内で生息している可能性がある。